

「バイオものづくり革命推進事業」プロジェクトに関する意見

フィコケミー株式会社 殿

令和7年10月31日

産業構造審議会 商務流通情報分科会 バイオ小委員会
バイオものづくり革命推進ワーキンググループ

本ワーキンググループで実施した議論を踏まえ、貴社におかれては、プロジェクト推進に当たって以下の点に留意のうえ、今後のモニタリングにおいて、その対応について報告されたい。

- ・ 品質の変動が予想される原料を利用する場合においては、エンジニアリングの観点からも早期の検討が必要であることから、ANA ホールディングス株式会社とよく相談し、実際の設計を待たずエンジニアリング会社等との調整を進めること。
- ・ 今後のスケールアップを実施するにあたり、過去の実施事業における知見が十分なものであるかどうかが不明確であるため、コンソーシアム内で誰がどのような分担でスケールアップを実施するのかを明確にし、実施計画書及び事業戦略ビジョンに反映すること。
- ・ 上記の対応方針や新たな事業戦略ビジョン、事業継続の意思について、本ワーキンググループにおいて再度説明すること。
- ・ 藻類研究について高度な専門性を有しているものの、特許化だけでは市場が広がらず、売上が限定的になるため、ANA ホールディングス株式会社と連携してオープン戦略の検討にも参画すること。
- ・ 特許化については研究部門と技術部門の連携体制となっているものの、標準化については担当者が未設置であるため、まずは担当者を置くこと。

以上